

2021-08 2021.11.16

2021年11月 議事録

2021年11月16日(火) AM10:00~12:00 東児童館卓球室

出席者; 柏木、荻生、篠原、笹澤、神田、半田、鈴木淑江

◎報告

・きずなネットワークの新しいホームページ <http://www.tharada.sakura.ne.jp/kizuna-network/>
のQRコード作成⇒きずな紹介のチラシを改訂

・東小学校校長先生との談話 11月18日(木) 10:30~ (笹澤、篠原、半田、坂口、鈴木) 出席

◎議題

① マップに医療関係のどのような情報を加えることができるか。(つくば市在宅医療と介護のサービスマップ^参)

⇒ **介護認定を受けていない人**にはどんな情報が必要か?

・ **往診と訪問医療**の違い⇒往診は突発的に依頼するもの。訪問診療は計画的に「次回は～～にきます」

・ 運転免許証返納などに伴う行動範囲の狭まりにより **歩いて行ける医院。**

⇒ **「かかりつけ医」**を決めるために →かかりつけ医のはき違え; 大病時に救急車で運ばれ治療を受けた大病院がかかりつけ医になっている場合が多いが普段からの血圧や持病の管理 家庭環境の把握をしてくれる医院を見つける。

⇒ **「つくば市在宅医療と介護のサービスマップ」**はつくば市全体を網羅している。

専門的な説明があり素人にはわかりにくい、医院の意思の部分には不明瞭な部分がある。

この「サービスマップ」を抜き出したこの近くの情報を載せたもの。わかりやすいもの。を作成しながら

* 講演会に谷田部東包括支援センターを呼び身近に感じてもらう。

* (とっかかり) わからないことがあったとき→「きずな」に聞いてみる→包括につなぐ(もちろん、包括に最初から飛べる人はOK); 車が無く、ネット社会とも無縁な高齢者へのフォローを努める

* 訪問看護、訪問医療、訪問薬局などの制度がありますのアナウンスの必要性

* * **HP きずな通信 坂口さんのワークショップなどでのアナウンスを繰り返す。**という方向になった。

② 坂口さんの講演+ワークショップのイベントについて

その他、AEDの訓練を小学校体育館で実施することは可能か?(校長との会談の時に聞いてみる)

坂口さん講演会の際はMAP更新のワークショップ AEDの訓練の際は包括の講演(2回の講演)

③ 井戸水供給可能を知らせるプレートについて

(非常時までにはきずな側で管理保管しておき非常時にプレートと依頼状を許可してくれた家に渡す)

ポンプタイプのイラストに「水滴」を加え 全体の文章に英語訳を添える

④ 東小学校区内組織図確認(防災連絡網整備、規約の整備の準備段階) 情報伝達にはLINEを活用することは可能か?

・現在在る「きずなネットワーク」では通常話題が話を進めすぎるので**「緊急時のみに使用するきずなネットワーク」**を作成し きずなのメンバーがそれぞれに所属している外部組織に情報提供ができるLINE; ただしこの情報を全て外部組織に流すのではなく必要が無いと窓口の人間が判断した情報は流さなくて良い。というシステム; **LINEの使用者の割合とLINEのみの信用性に疑問があり会議出席者が多いときに改めて聞いてみる。**

⑤その他

・ 聞き取りボランティアについて; 聞き取りボランティアとは介護されている高齢者の声に耳を傾けて聞いてあげられる他人→家族では介護人、被介護者 それぞれにストレスが溜まり 聞いてくれる人がいることは癒しになる。篠原さんの母親の時には社協の人と守谷さんがその役を担ってくれて大変に助かった記憶があるが現在もその活動は社協にあるのか?の質問→荻生さんが持ち帰り社協の仲間に聞いてくる。

次回は12月21日(火) AM10:00~ 東児童館卓球室